

防水スピーカーマイクロホン

**HM-172 HM-174**

GPS スピーカーマイクロホン

**HM-175GPS HM-189GPS**

### ご 注 意

- 無線機に接続するときは、無線機本体の取扱説明書をよくお読みいただき、コネクターをしっかりと接続してください。コネクターがはずれて無線機本体が落下したり、コネクター部から水が浸水し、故障の原因になることがあります。
- 無線機に接続する場合や無線機から取りはずす場合は、無線機本体の電源を必ず切ってください。誤動作や故障の原因になることがあります。
- 無線機から取りはずした状態で、コネクターを水に浸さないでください。コネクターがぬれた場合は、十分に乾かしてからご使用ください。
- **-30℃～+60℃を超える温度環境では、使用しないでください。**故障の原因になることがあります。
- **清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。**ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
- **本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。**本製品を分解、改造した場合は、本体、防水性能ともに保証対象外となります。
- **指定以外の無線機には接続しないでください。**故障の原因になることがあります。
- GPSマイクを無線機に接続し、無線機の自動送信機能を設定すると、無線機が一定間隔で自動送信しますのでご注意ください。

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。  
アイコム株式会社の著作物の全部、または一部を無断記載、複写およびいかなる方法による複製も禁止します。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、本書と無線機本体の取扱説明書をよくお読みいただき、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

### 概 要

- あらゆる環境下で安定した性能を発揮するIP57[(防塵形相当)★1.と(防浸形相当)★2.] (HM-189GPSを除く) & 堅牢ボディ。  
★1. 無線機に正しく接続した状態で、タルク粉を1m<sup>3</sup>あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、正常に機能することです。  
★2. 無線機に正しく接続した状態で、水深1mの静水(常温の水道水)に静かに沈め、30分間放置したのちに取り出して、正常に機能することです。
- 防水/防塵対策(HM-189GPSを除く)と同時に高音質を実現。
- 高性能のGPSレシーバーを搭載。(HM-175GPS/HM-189GPS)

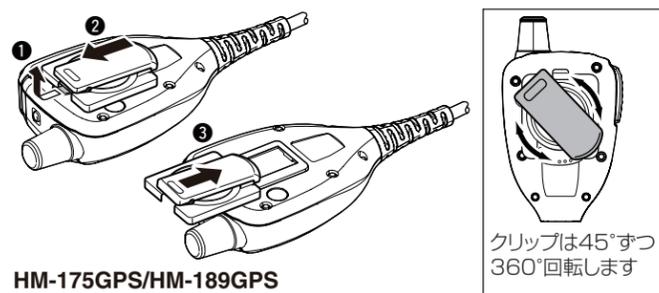
### ベルトクリップの着脱

ベルトクリップの取りはずし

- ① レバーを(1)の方向に押し上げます。
- ② そのままベルトクリップを(2)の方向にスライドさせて取りはずします。

ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを本体に密着させながら、矢印の方向(3)に「カチッ」と音がするまでスライドさせます。



HM-175GPS/HM-189GPS

クリップは45°ずつ360°回転します

### 定 格

#### 一般仕様

- 電源電圧 (無線機から供給) : HM-172 3.3～5.0V\*  
HM-174/175GPS/189GPS 5.0V  
\* 接続する無線機の外部電源制御の設定を、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 消費電流 (5V時) : HM-172/174 4mA以下  
HM-175GPS/189GPS 65mA以下
- 使用温度範囲 : -30～+60℃
- 外形寸法 : (カールコード/プッシュ/ベルトクリップを除く)  
HM-172/174 62(W)×89(H)×40(D)mm  
HM-175GPS/189GPS 62(W)×105(H)×40(D)mm
- カールコードの長さ : 30cm±2cm

- 重量 : (カールコード/プッシュ/ベルトクリップ含む)  
HM-172/174 約200g  
HM-175GPS/189GPS 約220g
- スピーカー : インピーダンス 8Ω  
定格1W 5%歪率時 (最大2W)

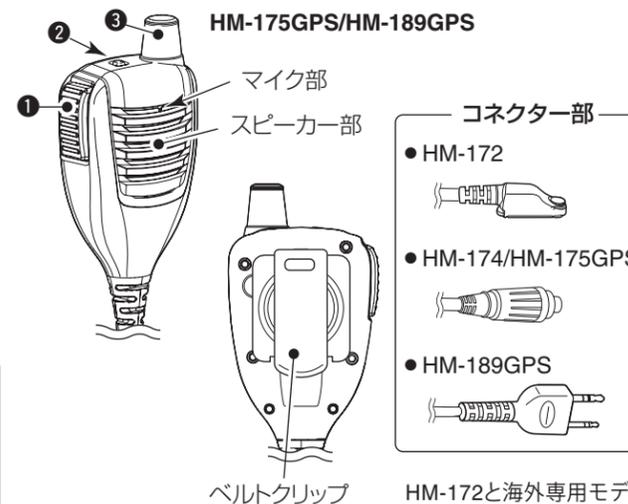
#### GPSレシーバー (HM-175GPS/HM-189GPS)

- 測位時間 : コールドスタート 40秒 typ.  
ホットスタート 4秒 typ.

\* 定格、外観、仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。

### 各部の名称と機能

- ① PTT(送信)スイッチ  
押し続けているあいだは送信状態、はなすと受信状態になります。
- ② トップスイッチ (HM-175GPS/HM-189GPS)  
押すごとにGPSレシーバーがON/OFFします。  
● GPSレシーバーがONの時に点灯します。OFFの時は消灯します。  
● GPSの測位に成功すると点滅します。
- ③ GPSアンテナ (HM-175GPS/HM-189GPS)



- コネクター部
- HM-172
  - HM-174/HM-175GPS
  - HM-189GPS

HM-172と海外専用モデルのHM-169とはピン配列が異なりますので、互換性はありません。

### GPSレシーバー使用上のご注意 (HM-175GPS/HM-189GPS)

#### 測位について

GPSレシーバーは、GPS衛星からの電波を受信しGPS衛星の軌道情報と電波の伝播時間のデータから自身の位置を測位します。測位するには最低3個～4個のGPS衛星が補足されている必要があります。初めて使用する場合や長時間電源を入れない状態が続いた後、あるいは一度電源を切った後、遠くはなれた位置で再び電源を入れたときなどは、受信可能なGPS衛星が分からないのですべてのGPS衛星をサーチします。このため最初の測位には1分程度かかります。

GPS衛星からの電波が届かない場所(トンネルの中、地下、屋内、高架下、電波をさえぎる高い建物や樹木などの障害物、高圧電線や1.5GHzを使う携帯端末の近く、熱線反射型ガラス越しなど)では、受信できなかったり、また実際の位置と測位で得られた位置がずれることがあります。

GPS衛星の配置は常に変化しているため、使用する場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。また、測位に必要な3個以上の衛星を受信した場合でも、衛星の配置によっては測位に時間がかかることがあります。

GPS衛星の電波は建物や樹木などの障害物だけでなく、体の一部によってもさえぎられる場合があります。GPSアンテナは体に密着させないで、できるだけ体からはなして使用してください。

#### アルマナックデータとエフェメリスデータについて

測位までの時間を短縮するために、GPS衛星の軌道情報(アルマナックデータ)を内部メモリーに記憶しています。

長時間電源を入れずに放置された後で使用する場合は、アルマナックデータを再取得する必要があります。GPS衛星の受信状態の良い場所で電源を入れると自動的にGPS衛星からアルマナックデータを取得するためにコールドスタートをします。

短時間の電源OFFであればGPS衛星の詳細な軌道情報(エフェメリスデータ)を内部メモリーに記憶しています。GPSレシーバーの電源がOFFになってから4時間程度であればエフェメリスデータが有効であるためホットスタートをします。

#### アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

高品質がテーマです。

この印刷物は環境にやさしい再生紙と植物性インクを使用しています。